

【短期大学部】 2022 年度授業実施方針について

在学生、入学予定の皆様、保護者の皆様

2022 年 3 月 26 日

女子栄養大学短期大学部
学長 香川 明夫

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い発令されていた「まん延防止等重点措置」が 3 月 21 日に解除され、緩やかな減少傾向が続いておりますが、感染の再拡大を防ぐため、引き続き、感染防止対策に取り組んでいくことになります。

本学では、建学の精神「食により人間の健康の維持・改善を図る」のもと、栄養学を実践に生かすために必要な知識と技能を修得できるよう、コロナ禍においても、オンライン授業では授業資料や実習教材等を事前に郵送、きめ細かな技術指導が伴う実験・実習では徹底した感染防止対策の下で対面授業を実施するなど、様々な工夫を重ねてきました。

2022 年度の授業は、感染防止対策を徹底した上で、通常どおり対面授業を基本とした授業計画になりますが、コロナ禍以前の授業運営に戻るのではなく、コロナ禍での経験を活かした「次の」教育を展開していきます。

また、感染拡大の状況の変化に応じて、必要とされる見直しを適時行うことで、安心して学修環境の確保と教育の質の維持・向上を目指していきます。

本学の教育力と実践力を十二分に発揮し、新型コロナウイルス感染症を乗り越え、「次へ」進めるよう、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いします。

基本的な授業運営及び実施方法について

2022 年度授業開講方法について、新型コロナウイルス感染症の発生状況により柔軟に対応してまいります。各机上の飛沫防止パネルの使用などの感染防止対策のもと「対面授業」を基本として実施してまいります。

新 2 年生は、1 年生の時に一部の科目がオンライン授業となり、慣れない環境で大変な努力を強いられたことと思います。これからも、様々な場面で努力を強いられることが考えられますが、栄養学を学び社会に還元できる力を獲得するために全教職員と共に最終学年が充実したものとなるよう努力してまいります。

新入生についても、同様に新たな環境に早く馴染めるよう、一人一人に寄り添い、学業が勧められるよう教職員一丸となりサポート体制を組んでまいります。

感染防止対策のため、日々の健康管理として学生本人及びその同居されているご家族を含め、体調管理にご協力お願い致します。

キャンパス内では、常にマスクを着用し、教室入室時はアルコールによる手指及び机上の消毒を実施していただくことで、感染防止を極力進めてまいります。

教室内の環境については、換気の徹底を行うとともに、机と机の間隔を80cm程度と広く開け、1クラスの人数を通常より少なくします。さらに、座席には感染拡大防止の為、学生の着席状況を記録します。

なお、学内施設の使用制限はありますが、学生の皆さんが困ることが無いよう利用できる場所の提供を行います。学修面、進路や経済面での学生生活に関する事項、健康面や精神面などに変化がある場合、担任教員、保健センター及び教務学生課では相談体制を整えていますので、いつでも気軽にご相談ください。